

千葉交響楽団

議会棟ミニコンサート

日時：2025年12月5日（金）12：15～12：45

会場：千葉県庁議会棟1階ロビー申し込み不要・参加無料

— 曲目 —

1. モーツァルト
アイネ・クライネ・ナハト
ムジークより第1楽章

2. モリコーネ
ガブリエルのオーボエ

3. ポーランド民謡
クラリネット・ポルカ
(2重奏)

4. フランセ
ディヴェルティスマンより
第1楽章

5. プッチーニ
歌劇「トゥーランドット」より
誰も寝てはならぬ

6. 見岳章
川の流れのように



お問合せ：公益財団法人千葉交響楽団
TEL：043-222-4231 FAX：043-222-4269
<https://chibakyo.jp>

山下 一史 (やました かずふみ)

1977年桐朋学園高校音楽科に入学、チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、森正の各氏に師事。1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学。1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。1985年から1989年までカラヤンのアシスタントを務め、急病のカラヤンの代役として急遽ジーンズ姿のまま「第九」を指揮し、話題となった。

その後、スウェーデンのヘルシンボリ交響楽団首席客演指揮者を務めた。日本国内では1988年にNHK交響楽団で指揮デビュー、オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者、仙台フィル正指揮者を歴任。東京藝術大学音楽学部指揮科教授として後進の育成にも尽力している。現在、千葉交響楽団音楽監督、愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者。



モーツァルト：アイネ・クライネ・ ナハトムジークより第1楽章

1787年に作曲された弦楽セレナードで、
明るく華やかな旋律が特徴です。

第1楽章はソナタ形式で展開され、モーツァルトの
代表的な室内楽として世界中で親しまれています。

ポーランド民謡：クラリネット・ ポルカ（2重奏）

19世紀末に生まれたとされるポルカで、
軽快なクラリネットのアルペッジョが印象的
です。日本でもラジオ番組のテーマ曲として
長年親しまれています。

モリコーネ：ガブリエルのオーボエ

映画『ミッション』（1986年）のために書かれたテーマ曲で、
主人公ガブリエル神父がオーボエを奏でる場面で流れます。
静かで美しい旋律は平和と祈りを象徴しています。

フランセ：ディヴェルティスマン より第1楽章

1947年に作曲されオーボエ・クラリネット・
ファゴットのために書かれました。軽妙で洒
脱なフランセらしい作風が光り、第1楽章は明
るく遊び心に満ちています。

プッチーニ：歌劇「トゥーランドット」 より誰も寝てはならぬ

ルチアーノ・パヴァロッティの歌唱で世界的に有
名になった曲です。オペラのジャンルを超えて、
フィギュアスケートなどでも幅広く親しまれる曲
としても有名です。

見岳章：川の流れのように

美空ひばりの最後のシングルとして1989年に発表され、人生を
川の流れにたとえた歌詞と旋律が国民的共感を呼び、NHKの国
民投票で「日本の歌・第1位」に選ばれました。

